特別展

〝玉の輿〟の大名家の栄光と苦悩

The Glory and Anguish of the "Marrying into the purple" Daimyo Family: Tsunayoshi Tokugawa, Keisyouin and the Honjo-Matsudaira Family of the Miyazu Domain

―徳川綱吉・桂昌院と宮津藩本庄松平家―

徳川綱吉像（部分）
長谷寺蔵
※10/23～11/7 の
期間限定展示

本庄宗秀甲冑
着用像（部分）
個人蔵

桂昌院像（部分）
長谷寺蔵
※10/23～11/7 の
期間限定展示

2021年
10月23日（土）
▶12月12日（日）

ふるさとミュージアム丹後
（京都府立丹後郷土資料館）

文化庁
令和３年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業
日本遺産 JAPAN CULTURAL EXPO
海の京都
丹後郷土資料館
ホームページ

■開館時間　午前９時～午後４時 30 分
＊10 月 23 日（土）・30 日（土）、11 月５日（金）～７日（日）は
午後８時まで開館
＊夜間開館期間中は当館周辺のライトアップを実施
■休 館 日　毎週月曜日
■入 館 料　大人 250 円、小人 70 円　団体割引あり
＊65 歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料
＊「きょうと子育て応援パスポート」が利用可能

〒629-2234　京都府宮津市字国分小字天王山 611-1
TEL　０７７２－２７－０２３０　　FAX　０７７２－２７－００２０
ＨＰ　http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-m/

＊新型コロナウイルス感染防止対策を講じて実施しますが、感染状況により事業が中止または内容変更となる場合がございます。ご来館の前に当館ホームページもしくはお電話等でご確認ください。

令和３年度 特別展

〝玉の輿〟大名家の栄光と苦悩

―徳川綱吉・桂昌院と宮津藩本庄松平家―

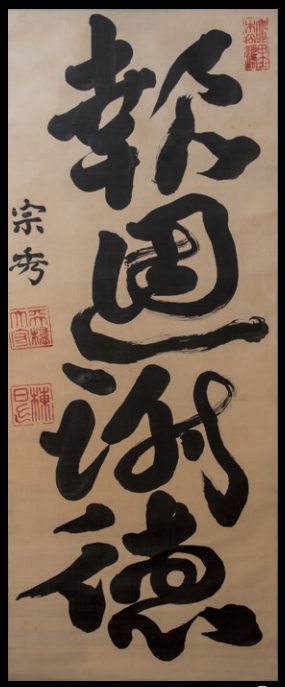
宮津藩本庄松平家は、宝暦八年（一七五八）以降明治維新まで宮津藩主を務めました。本庄氏は藩祖・本庄宗資が江戸幕府五代将軍徳川綱吉の母である桂昌院の弟であったため、綱吉に取り立てられ大名となります。桂昌院はもと〝玉〟という名前で、一説では八百屋の娘とされています。そこから将軍の側室まで登り詰めたことから、桂昌院は〝玉の輿〟の代名詞として知られます。また、宗資は桂昌院・綱吉のもとで寺社や朝廷儀礼の再興などに大きく関わりました。

二代資俊の時代にはさらに松平姓を与えられ、以降歴代藩主は松平姓を名乗り、幕府の要職に就くような家格にまで登り詰めます。その一方、このことが藩財政の悪化やそれに伴う一揆の発生といった、江戸時代後期における本庄家の苦悩の要因にもなりました。

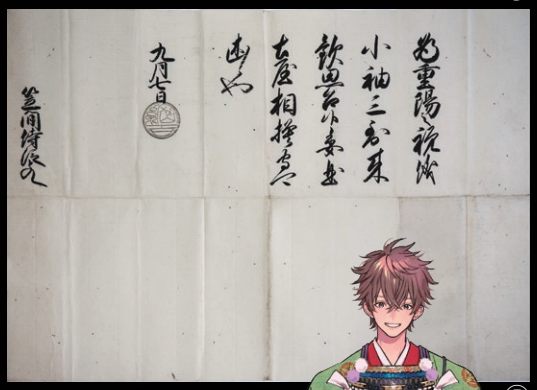
本展示では、近年新たに発見された宮津藩本庄家関係資料を紹介し、激動の時代を生きた本庄家のあゆみを紐解きます。

徳川綱吉・桂昌院・宮津藩本庄松平家ゆかりの品を一挙公開

④



②



⑤

③

会場には第９代藩主本庄宗秀のキャラクターパネルが初登場！

イラスト：棉きのし

①

関連イベント

文化財講座

11月6日（土）13：30～ 「大出世をとげた本庄宗資」
講師：藤本　仁文氏（京都府立大学准教授）

20日（土）13：30～ 「桂昌院ゆかりの善峰寺
～近年の古文書調査からわかったこと」
講師：母利　美和氏（京都女子大学教授）

＊各回定員30名　＊当日午前11時30分から先着順に整理券配布

連携展示　本庄宗秀筆「蛭子像」を展示！

文化遺産調査特別展「谷文晁の末裔-二世文一と谷派の絵師たち-」
会場：足立区立郷土博物館（東京都足立区大谷田五丁目20番1号）
会期：10月1日（土）～12月5日（日）
＊詳細は足立区立郷土博物館にお問い合わせください。

京都府域展開アートフェスティバル
「ALTANATIVE KYOTO ―もうひとつの京都―
想像力という＜資本＞」in 宮津・天橋立

会期：9月24日（金）～11月7日（日）
作品ライトアップ：18：00～21：00
史跡丹後国分寺跡にて彫刻家ヤノベケンジ氏の作品《ラッキー ドラゴン》、《黒い太陽》を会期中全日展示
11月5日（金）～7日（日）には、18:00から不定期で《ラッキードラゴン》によるパフォーマンスを実施

ぶらり丹後

10月30日（土）13：30～
「宮津城」
案内：森島　康雄（当館資料課長）

11月13日（土）13：30～
「宮津城下町」
案内：稲穂　将士（当館資料課）

本庄宗秀筆
「蛭子像」
（加悦機業組合蔵）

掲載資料

①太刀　銘　来国俊（宮津藩本庄松平家伝来）
　愛知県名古屋市・刀剣ワールド財団蔵
②本庄宗秀筆「報恩謝徳」　個人蔵
③色々威本小札胴丸（本庄宗資奉納）　善峯寺蔵
④阿弥陀如来立像及び厨子（桂昌院念持仏）大頂寺蔵
⑤徳川綱吉御内書（宮津藩本庄家関係資料）　個人蔵

アクセス

京都丹後鉄道宮豊線「天橋立駅」または「岩滝口駅」から丹海バス伊根方面行き「丹後郷土資料館」下車
または「国分」下車徒歩５分
「与謝天橋立ＩＣ」から車で10分